研究成果情報

【ときめき】 No.467号
2025 年6月 20 日
島根県農業技術センター

アスパラガス高畝栽培に適した立茎本数

【要旨】アスパラガス高畝栽培の最適な立茎本数は、3～5本/株であることを明らかにしました。 ＃水田園芸 ＃高畝栽培 ＃立茎本数 ＃ゼンユウガリバー

アスパラガスは水田園芸県推進6品目の一つで、立った姿勢で収穫が可能な「高畝栽培(写真1)」を中心に栽培面積が広がっています。アスパラガス若茎の伸長等に利用される同化養分は、立茎により発生する茎葉で作られます。立茎本数は、茎葉の繁り具合を左右することから、最適な立茎本数の把握はアスパラガス生産にとって重要です。

慣行の栽培様式(平畝栽培)の立茎本数に関する報告は多くありますが、比較的新しい栽培方法である高畝栽培に関する報告はほとんど見当たりません。そこで、高畝栽培における最適な立茎本数を明らかにするため、収量性との関係について調べました。

写真1 アスパラガス高畝栽培

【研究の成果】

試験は、高畝栽培にて品種‘ゼンユウガリバー(以下、ガリバー)’を用い、立茎本数を減らした減茎区(立茎本数 1.6～1.7 本/株)と立茎本数を増やした増茎区(立茎本数 5.2～8.9 本/株)を設定し、慣行区(立茎本数 2.5～3.8 本/株)と比較しました。その結果、減茎区では慣行区に対して総収量が減少することが分かりました(図1)。一方、株あたり立茎本数と総収量の関係をみると、総収量は立茎本数が株あたり3～5本で最も多く、8～9本では減少する傾向となりました(図2)。

以上の結果から、高畝栽培‘ガリバー’での立茎本数は株あたり3～5本が適当と考えられました。

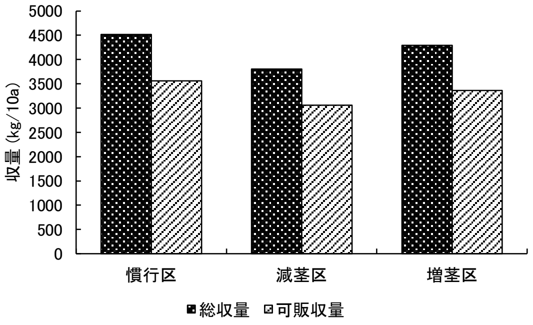

図1 立茎本数の増減が収量に与える影響

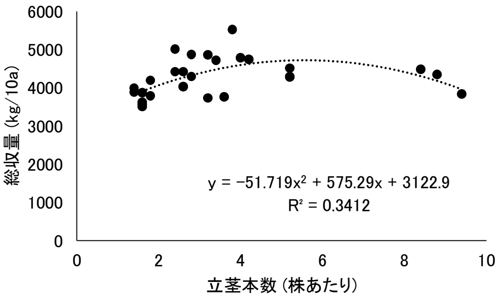

図2 立茎本数と総収量との関係性

【重点推進事項】水田園芸の推進
【問い合わせ先】栽培研究部水田園芸科